

平成23年 山間集落实態調査の集計結果（概要版）

平成23年10月7日
中山間振興・定住促進課

調査の枠組み

□調査概要

これまでの中山間地域振興施策の成果を分析し、次期中山間地域振興施策の検討を行うため、特に過疎化及び高齢化の進展が著しい山間地域に居住する住民の日常生活の状況等の実態把握を行った。

□調査対象集落

山間谷部奥地に位置する集落から選定（平成2年から約5年おきに同一集落を対象に調査）
（県内16市町、111集落、2,654世帯、7,844人）

□調査内容

世帯調査（対象集落の全世帯を対象）及び集落点検調査（集落代表者、市町対象）

○世帯調査 家族の状況、生活の範囲、世帯の収入、将来の見込み、山林の所有状況など

○集落点検調査 人口・世帯数・高齢化率、空き屋の状況、移動サービスの状況など

□調査基準日

平成23年5月1日

□回収率

集落ベース 100% (111集落/111集落)

戸数ベース 85.6% (2,272世帯/2,654世帯)

1 共通基礎データ

人口・世帯数の減少及び高齢化はさらに進行し、独居世帯の比率も高まっている。

区分	平成7年	平成12年	H 7 との差	平成18年	H 12 との差	平成23年	H 18 との差
集落人口(人)	11,006人 (100%)	9,620人 (87.4%)	▲1,386 (▲12.6%)	8,870人 (80.6%)	▲750 (▲6.8%)	7,844人 (71.3%)	▲1,026 (▲9.3%)
(県全体)	614,929 (100%)	613,289 (99.7%)	▲1,640 (▲0.3%)	607,012 (98.7%)	▲6,277 (▲1.0%)	588,418 (95.7%)	▲18,594 (▲3.0%)
集落世帯数(世帯)	2,912世帯 (100%)	2,786世帯 (95.7%)	▲126 (▲4.3%)	2,736世帯 (94.0%)	▲50 (▲1.7%)	2,654世帯 (91.1%)	▲82 (▲2.9%)
(県全体)	188,866 (100%)	199,988 (105.9%)	11,122 (5.9%)	208,526 (110.4%)	8,538 (4.5%)	211,832 (112.2%)	3,306 (1.8%)
高齢化率(%)	28.1%	34.5%	6.4%	38.7%	4.2%	40.8%	2.1%
県全体	19.3%	22.0%	2.7%	24.1%	2.1%	26.3%	2.2%

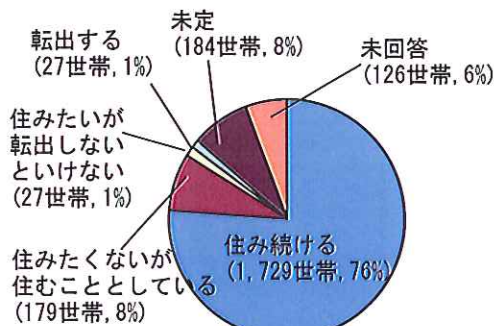
※県全体の数値は「国勢調査(H23速報値)」、「鳥取県年齢別推計人口(H22)」を使用

	独居世帯数	独居世帯の割合
H23	507	19.1%
H18	419	15.3%

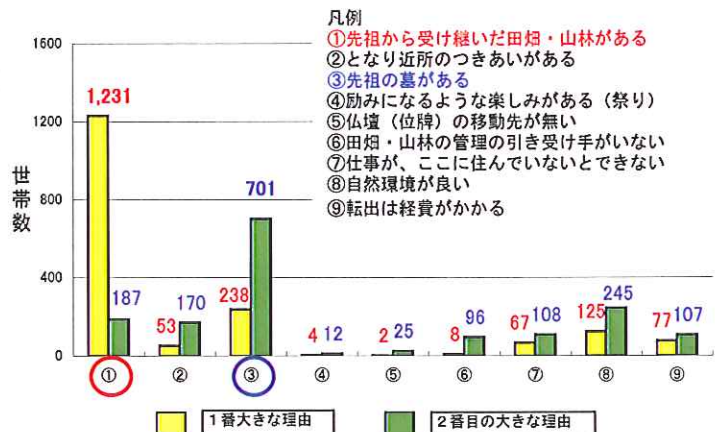
2 定住の意向

定住への意向は強く、先祖から受け継いだ財産の保全に対する意識は高い。

今後の定住意向について 回答：2,272世帯



今後も住み続けるとした理由



3 日常生活の状況

(1) 世帯の高齢化に伴い、今後車の運転が困難となり買い物などの日常生活に支障が生じると予想される。

項目	車で買い物に出かける人がいる世帯	59歳以下の方が主に買い物に行く世帯	60歳～65歳未満の方が主に買い物に行く世帯	65歳～70歳未満の方が主に買い物に行く世帯	70歳以上の方が主に買い物に行く世帯
		世帯数	1,633世帯 (1,225世帯)	947世帯 (861世帯)	190世帯 (68世帯)
割合	100% (100%)	58% (70%)	12% (6%)	8% (8%)	22% (16%)

(参考) 運転免許証を保有している世帯総数 1,807世帯

※下段(カッコ)内は平成18年調査結果

(2) 半数以上の集落で移動販売サービスが行われている。

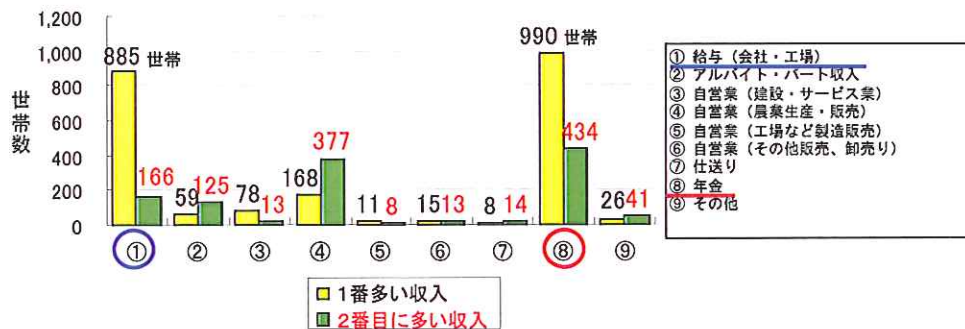
項目	移動販売サービスのある集落	うち高齢化率50%以上の集落で移動販売サービスのある集落
	集落数	59集落
割合	53% (59集落/111集落)	56% (20集落/36集落)

※高齢化率50%以上の集落は、111集落のうち36集落

4 収入の状況

世帯における最も大きな収入は年金収入であり、世帯の高齢化が進行していることが分かる。

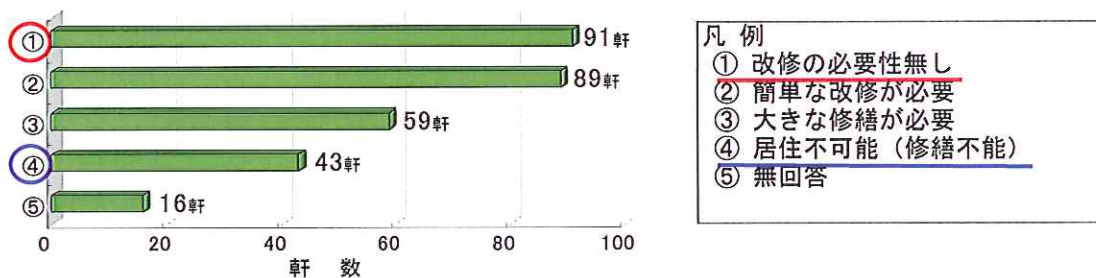
(H18調査では、第1位が給与収入、第2位が年金収入であった。)



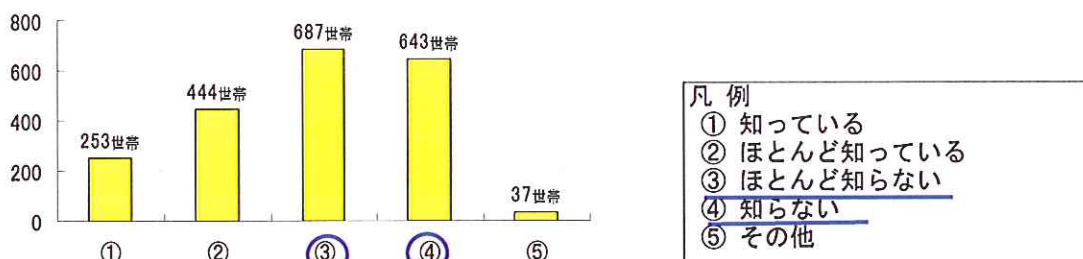
5 財産管理の状況

大半の集落において空き家があり、この内、修繕の必要無い家屋は31%(91軒)であり、今後の活用が期待できる一方で、14%(43軒)が修繕不能となっている。

(1) 空き家がある集落は、85集落(回答108集落)で、298軒の空き家がある。



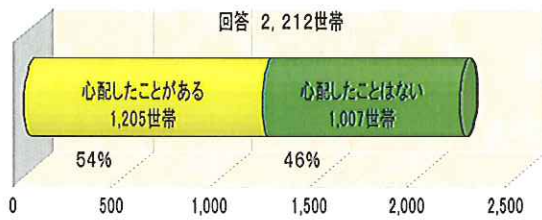
(2) 山林境界の把握状況 後継者が境界を知らない世帯が64%(1,330世帯)と多い。



6 住民の暮らしの安心の状況

(1) 災害時の孤立不安を感じる世帯は5割を超えるが、家族内での相談など十分になされていない状況である。

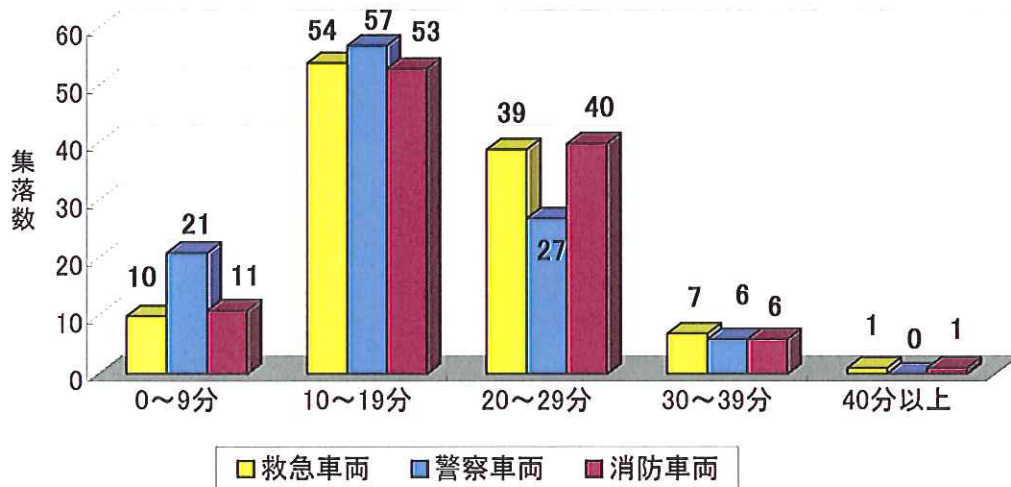
問：災害時に孤立する心配を感じたことはありますか？



問：災害時に家族と連絡不通になった時の事を相談したことはありますか？



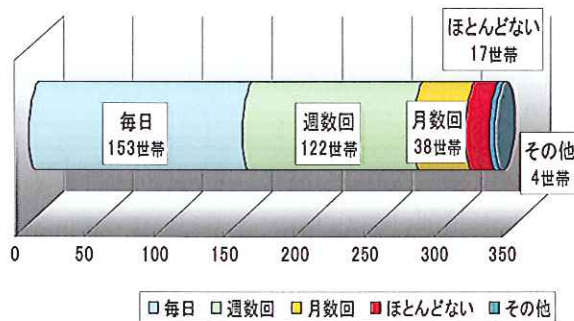
(2) 緊急車両（救急車両、警察車両、消防車両）が到達する時間は、10～19分の間に到達する集落が一番多い。



7 助け合いの状況

独居世帯の方は概ね外部の方との接触、声かけがなされており、外部との接触がほとんどないと回答した世帯はごく僅かである。

65歳以上の独居世帯の外部接触



声かけの状況（複数回答）

